



### 第105回全国高校野球選手権大会



【文星芸大付一八学光星】4回裏八学光星2死三塁、西尾が左中間に適時二塁打を放つ

# 「つなぎ役」2人が躍動

## 西尾、青木 好機に適時打

八学光星の「つなぎ役」の打者が強い存在感を揮った。2番の西尾太晴と7番の青木虎仁。チームの6得点のうち、2人で3打点を稼いだ。仲井宏基監督は「よく打ってくれた。外せない選手に成長してくれた。いい」と高く評価した。

台風の影響で順延した1日を効果的に生かした。文星芸大付を研究する時間が増え、ベンチ入りメンバーを外れた部員が相手の主戦左腕・渋谷優希を分析。「ストライクを取れるボールを続けて投げてく」とのデータが浮かび上がった。

その分析はいきなり的中した。一回裏に早々に盗塁し、2点リードとなつてさらに攻勢をかける2死三塁打席には青木、先発した渋谷のスライターが2球外れてボールとなり、直球でカウントを整えてきた。「また真つすが来る」。読み通り甘く入った直球を中前にはじき返し、貴重な追加点を挙げた。四回2死三塁の場面では西尾。「ツナブトからでも点を取る」と、外のスライターに食

つなぎ役

らい付いた。左中間に打席連続となる二塁打を放ち、1点を加えて相手突き放した。大事な中盤の五回には、青木が再び活躍。2死三塁から右翼へ運び、2打点となる適時

二塁打で勝利を大きく引き寄せた。4年ぶりに準々決勝へ駒を進めた八学光星。同じ東北勢で、昨夏の覇者・仙台育英（宮城）戦に向け、熱い闘志がほとほと

るが、「俺らもあんやぞ」と言えるくらいに戦いをしたい

（千葉洋也）



【文星芸大付一八学光星】5回裏八学光星2死三塁、青木が右翼線に適時二塁打を放つ。投手堀江、捕手黒崎